



株式会社ハイブリッドテクノロジーズ

(証券コード:4260)

2022年9月期(第1四半期)

個人投資家向けオンライン会社説明会

2022年2月21日

会社・事業の概要

成長戦略

第1四半期のトピックス

ベトナムでの活動

2022年9月期(第1四半期)決算概要



代表取締役社長

チャン バン ミン TRAN VAN MINH

- ・ 1986年ベトナムで生まれる。
- ・ 2012年に日系製造企業のベトナム法人の代表を勤める。
- ・ 2014年にベトナム情報通信大手の日本法人代表を勤める。
- ・ 2016年にハイブリッドテクノロジーズを創業する。

社名	設立年月日	役員	
株式会社ハイブリッドテクノロジーズ Hybrid Technologies Co., Ltd 〈連結子会社〉 Hybrid Technologies Vietnam Co., Ltd.	2016年4月28日	代表取締役社長	チャン バン ミン (TRAN VAN MINH)
所在地	資本金	取締役CFO	平川 和真
〈東京本社〉 〒104-0033 東京都中央区新川2-22-1 いちご新川ビル5F	845,193千円 (2021年12月31日時点)	取締役	窪田 陽介
〈連結子会社 / ベトナム〉	従業員数	社外取締役	増山 雅美
・ホーチミン DOB オフィス 7F Dongnhan Office Building, 90 Nguyen Dinh Chieu Street, Dakao Ward, District 1, Ho Chi Minh City	520名 (2021年12月31日時点) ※100%子会社従業員含む	社外取締役	衣笠 嘉展
・ハノイ CP オフィス 12AF, Central Point, 219 Trung Kinh Street, Cau Giay District, Ha Noi		常勤監査役	高田 英次
・ダナン VP オフィス 7 th floor, Vinh Trung Plaza 255-257 Hung Vuong Street, Hai Chau 1 ward, Hai Chau District, Da Nang		社外監査役	狐塚 利光
		社外監査役	里見 剛
		執行役員	新井 康太
		執行役員	グエン ヴー ホイ (NGUYEN VU HOI)
		執行役員	高村 亙



- Vision

New view with you

- Mission

私たちは常に発展途上であり、顧客とともに成長し続けます。

- Business

顧客に適したデジタル技術を用いて、業務のみならず
ビジネス変革を提供することで、顧客の競争優位性を高め、
社会をよくするための事業の運営をしていきます。



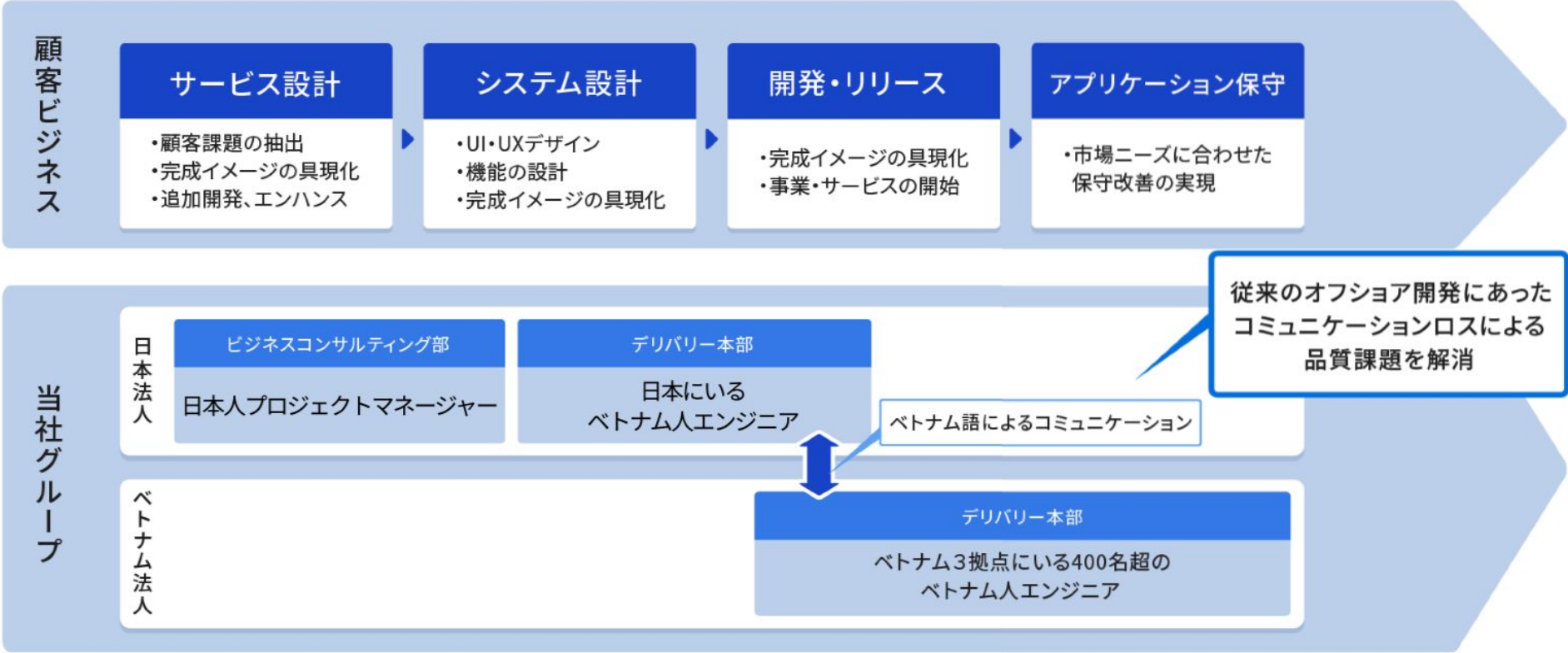
当社の展開する事業について

当社は、2016年に創業して以来、当社の起源であるベトナムが持つ成長へのエネルギーが、日本社会の課題を解決する原動力になると信じ、日本とベトナム、両国の力で顧客の課題を解決するハイブリッド型サービスの提供を通して、成長を続けてまいりました。

当社では、日本法人に日本人とベトナム人の多数のトップエンジニアが在籍しているため、日本で高度な要件定義を行うとともに、ベトナム法人に在籍するエンジニアとのスムーズな連携が可能です。そのため、顧客は、通訳を必要とせず、またオフショアや開発拠点を意識せずに、高品質なサービスを高いコストメリットとともに享受出来る点が、ハイブリッド型サービスの特徴です。

当社は、このハイブリッド型サービスの提供を通して、顧客の真のパートナーとなり、顧客が抱える課題を共に解決することで、その事業に新たな景色を創造し、その先に広がる社会をより良く変革していくために、今後も長期的な成長を見据え、事業の拡大を目指してまいります。

ハイブリッド型サービスでは、日本側が中心となり顧客のサービス設計、システム設計の上流工程を担い、ベトナム側のエンジニアリソースと連携することで顧客サービスの上流から下流工程に至る一連のサービスを提供。



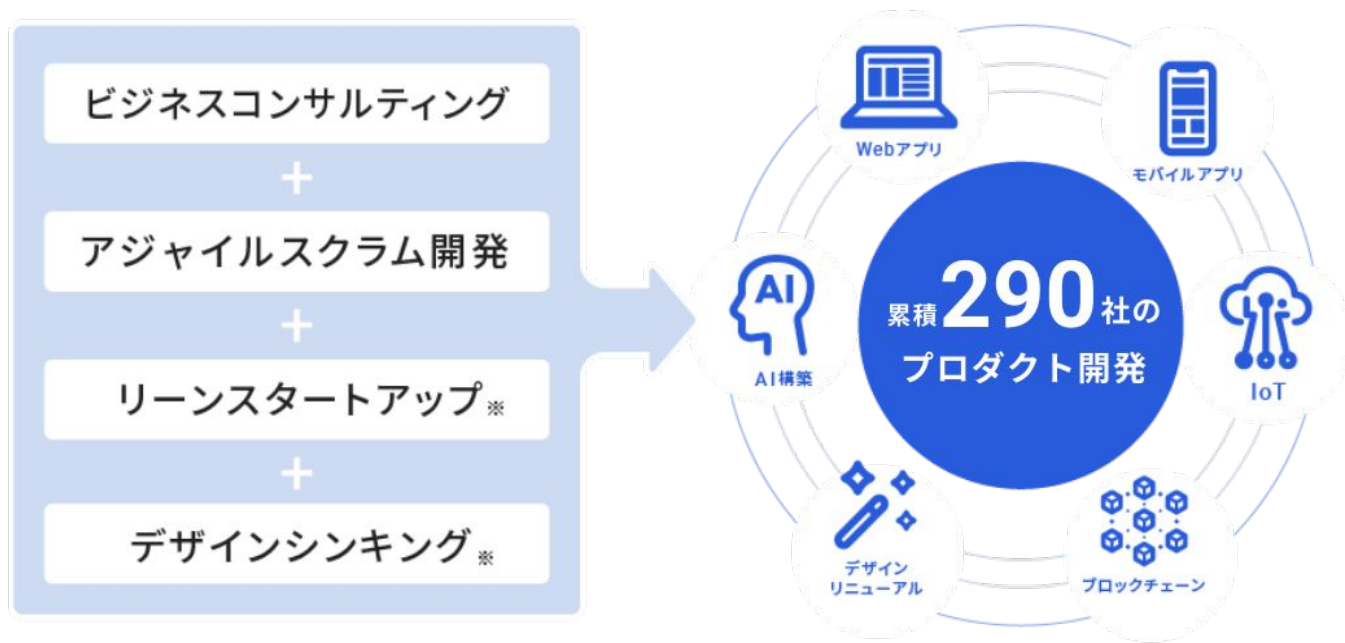
顧客ニーズに沿って、準委任契約のストックサービスと請負契約のフローサービスを提供。

カテゴリ	ストックサービス		フローサービス
契約種別	準委任契約		請負契約
サービスライン	長期型	短期型	-
期間	1年	3ヶ月程度	案件単位
特徴	アジャイルスクラム型開発 ※1		ウォーターフォール型開発 ※2
ニーズ例	特定の案件によらず安定的に ビジネスやプロダクトを 成長させるためのリソースを獲得したい	・ 特定の案件でのリソース確保をしたい。 ・ 長期のトライアルをしたい	・要件は明確に決まっているが、リソース 不足のため短期的にリソースを確保したい。 ・長期のトライアルをしたい

※1 アジャイルスクラム開発 ビジネス機能にたいして開発機能を分解し、機能単位での要件定義・設計・実装・テストを行う「アジャイル開発」の中の代表的な手法の一つ。
「達成すべき目標」や「実現すべき機能」をチーム内で共有を行い、チーム全体で開発を進める手法。その他、アジャイルカンバンなどのアジャイル開発手法がある。

※2 ウォーターフォール開発 コンピュータソフトウェアのシステムの開発手法。要件に従い、要件定義・設計・実装・テストを一連の流れで行う手法。
主に、全行程での変更が少ない業務系のコンピュータシステム向けの開発で用いられる。

最新のフレームワークを活用して繰り返し磨き上げてきた開発プロセスの仕組みと、累積290社超のPRODUCT開発に携わってきたノウハウの持ち合わせはユニークな点。



※デザインシンキング：課題を解決に導くために用いられるマインドセットのひとつ。デザインで使われる考え方を、さまざまなビジネスの場面に応用する手法。

※リーンスタートアップ：コストをかけずに最低限の製品・サービス・機能を持った試作品を短期間でつくり、顧客の反応を的確に取得して、顧客がより満足できる製品・サービスを開発していくマネジメント手法。

※290は、累積顧客数
※算定根拠：契約書

※算定期間：2012年4月～2021年9月
※Evolable Asia Co., Ltd. からの事業譲受前の顧客を含む

ベトナムにおける当社の知名度は、日系企業として最高位。
また既に開発経験者の候補リストを2万人以上保有しており、必要リソースを適時に準備できる仕組みを保持。

ベトナムにおける当社の知名度

日系企業として
最高位 ※1

ベトナムにおける開発経験者の候補リスト

20,000人+

※1 株式会社マイナビが運営するベトナムでITエンジニア専門の求人サイト ITviecは、給与・教育・マネジメント・企業文化・オフィス環境 の観点から、Best Companyを選定。
Hybrid Technologies Vietnam Co., Ltd.は、2019年と2020年に、日系企業で最高位に選出されました。

※2 過去当社へ応募頂いた開発候補者のリストです。応募のタイミングでリクルートシステムに登録し、常にそのリストから候補者へのリーチできる体制を持っています。

世界的標準規格に則った品質管理体制に加えて、テスト自動化や品質状況のリアルタイム可視化を行い、高い品質管理を実現。

(※1) 取得認証



Hybrid Technologies Vietnam Co., Ltd
は、情報セキュリティマネジメントシ
ステムの国際規格「ISO9001」、「ISMS
(ISO/IEC27001)」、ソフトウェア・
テストの国際規格「ISTQB Platinum
Partner」認証を取得しています。

自社開発 自動化テスト



- 1 簡単にテストスクリプト作成が可能
- 2 短期間で操作技能習得可能な設計で、人材確保が容易
- 3 他ツール(開発・自動・管理)に連携可能

目的と効果

テスト網羅性の担保を行い、
回帰テストのコスト削減を実現

ビジュアルSQA



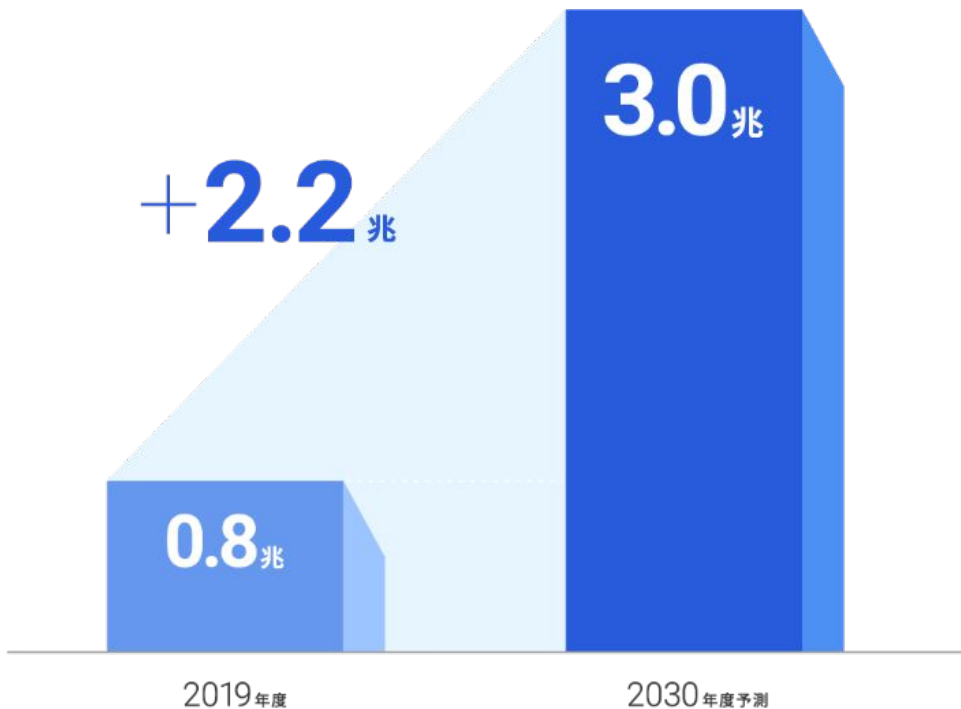
- 1 オンラインで管理可能
- 2 進捗・品質・納期を可視化可能
- 3 リアルタイムで生産性の統計・分析が可能
- 4 他ツール(管理)に自動連携可能

目的と効果

リアルタイムにテストケース作成および
実行状況をモニタリングすることで
不具合収束状況の把握と対応判断の早期化を実現

テスト結果の管理

中堅・中小企業の実績を元に、大企業へのアプローチを強化できると、2030年には3兆円規模の市場規模への参入が可能。
大企業へのアプローチは、新規ビジネスへの投資部分にて、強化を狙う。
(※新規ビジネスへの投資予算は国内IT投資の中で2019年:22.5%が2021年:33.7%へ拡大する見込み)



出典元：富士キメラ総研「2020デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望」

新規ビジネス投資予算

2018年 22.5%



2021年 33.7%

出典元： 企業IT動向調査2019
一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会

会社・事業の概要

成長戦略

第1四半期のトピックス

ベトナムでの活動

2022年9月期(第1四半期)決算概要

- ・ストックサービス数拡大のために各獲得施策を強化。
- ・ストックサービス単価向上のために3つの施策を実施。

ストックサービス数拡大戦略

1. 中堅・中小企業のマーケット拡大
2. 大企業へのアプローチ強化

獲得施策



既存顧客からの
流入強化



Webからの
流入強化



セールス体制の
強化



実績の蓄積

単価向上施策

サービス設計、システム設計の上流工程の
強化をすることにより、
単価の高い人材をアサインして単価向上を図る

既存プロジェクトのサービス成長コミットによる
人員の追加で単価向上を図る

IPO後の認知拡大に伴い、
大企業との取引を狙うことで単価の向上を図る

会社・事業の概要

成長戦略

第1四半期のトピックス

ベトナムでの活動

2022年9月期(第1四半期)決算概要

第1四半期のトピックス

・第1四半期の新規ストックサービス数は、順調に増加。

新規ストックサービス数

9件

新規受注顧客



PERSOL

パーソル キャリア



Money Forward

SHIFTASIA



C2C
PLATFORM

他5件



- ・当社が東京証券取引所マザーズに上場したことについて、駐日ベトナム社会主義共和国特命全権大使であるヴー・ホン・ナム氏より、お祝いのメッセージを頂く。



みなさん、おはようございます。ただいま、ご紹介いただきました
駐日ベトナム社会主義共和国特命全権大使ヴー・ホン・ナムと申します。



東京証券取引所への株式上場を成し遂げられたチャンバンミン氏と
ハイブリッド・テクノロジーズ社にお祝い申し上げます。

当社の新規上場は、ベトナム国内でも多数のメディアに掲載されており、当社は今後も日本、ベトナム両国からの注目と信頼に応えられるよう事業拡大を推進。

当社ニュースリリース <https://hybrid-technologies.co.jp/211224-2/>

会社・事業の概要

成長戦略

第1四半期のトピックス

ベトナムでの活動

2022年9月期(第1四半期)決算概要

Talent Academy(自社内教育組織)の活動

- ・2021年、ベトナム3拠点に自社内教育組織「Talent Academy」を設置。
- ・提携先の現地技術大学の新卒生を中心に、当社独自のカリキュラムと、実際の開発案件の経験を通して、開発技術、語学等の実践的な教育を施す。
- ・当社は若く優秀なIT人材を確保、育成しつつ、ベトナムIT人市場全体で活躍する人材に広く学習と経験の機会を提供。

当社のメリット

- 卒業生をそのまま自社で採用することにより、
- ・中途採用よりも**コストメリット**に優れ、
 - ・自社顧客の需要傾向に合致する**スキル**を備えた、若手エンジニアの確保が可能。

ベトナムに提供する価値

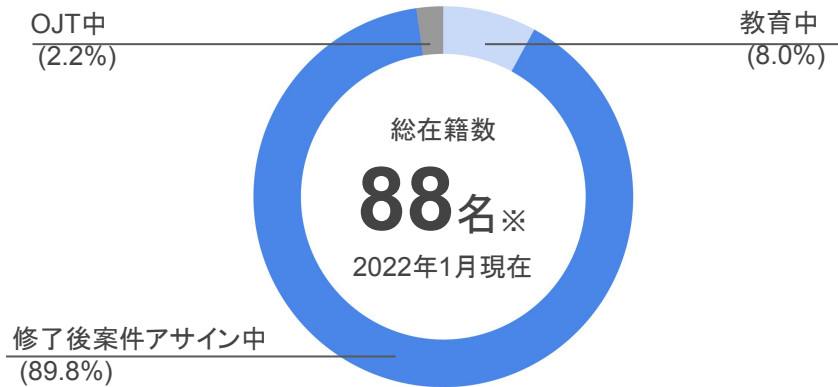
ITキャリアを希望するベトナム人に広くスキルアップの機会を提供することで、ベトナムIT市場全体の活性化に寄与。

Talent Academy教育プログラムの特徴

- ・市場動向や顧客の需要を反映した**様々な開発言語、開発手法**に対応。
- ・基本設計、詳細設計、テスト工程等、**開発のプロセス毎の教育プログラム**を設計。
- ・報連相やビジネスマナーをはじめ、**日本の商習慣の理解**を深めるプログラムを設置。
- ・開発技術だけでなく、対顧客の開発環境を想定し、**国際基準※に準拠したセキュリティ教育**を導入。
※情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格「ISO」、「ISMS (ISO/IEC27001)」

- ・ベトナム3拠点でオフライン、オンラインに対応した研修を実施。
- ・総勢40名超の講師、メンターが、研修、開発案件の経験をサポートし、受講者のキャリアイメージの鮮明化を促進。
- ・今後も後述する産学連携体制の拡大と強化を通して、Talent Academyの規模拡大を継続。

在籍者の概要



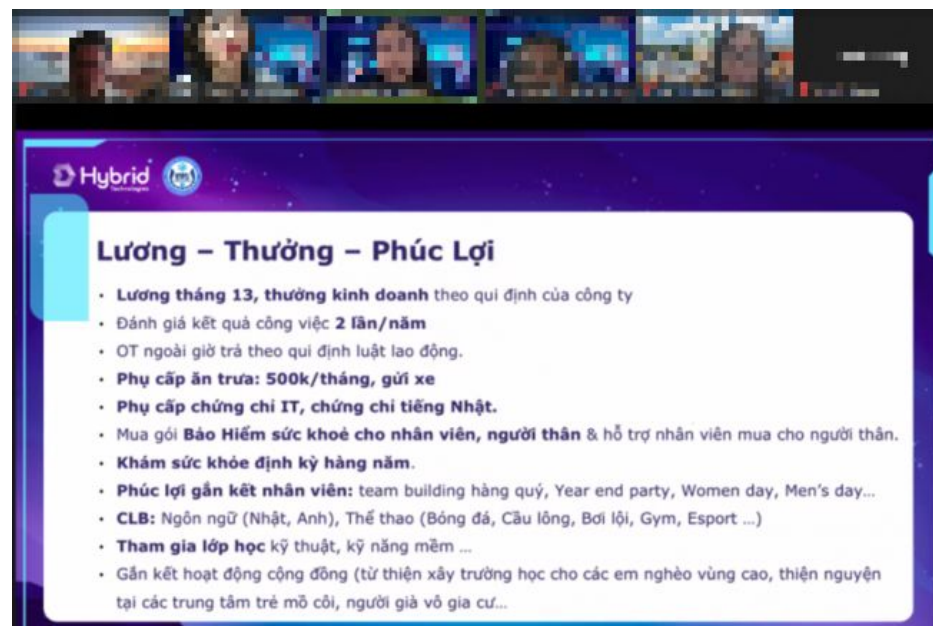
※Talent Academyを経て当社に在籍している人員の数(教育中的人数を含む)

講師、開発実務経験を有するメンター計**44**名

提携大学 **6**校

- ホーチミン
 - ・ホーチミン市工科大学
Vietnam National University Ho Chi Minh City University of Technology
 - ・ホーチミン市自然科学大学
Vietnam National University Ho Chi Minh City, University of Science
- ハノイ
 - ・VNU University of Engineering and Technology
 - ・ハノイ市工科大学
Hanoi University of Science and Technology
- ダナン
 - ・ズイタン大学
Duy Tan University
 - ・ダナン大学
The University of Da Nang

- ・2022年1月、当社ベトナム子会社であるHybrid Technologies Vietnam Co., Ltd.が、ダナン大学デジタルテクノロジー学部の学生に向けたセミナーを開催し、産学連携体制を強化。
- ・約70名の学生に対し、当社の技術者から開発実務や開発市場の動向等についての講習、人事部から当社の説明と提供できるキャリアパスを紹介。
- ・ベトナムIT人材市場における当社の認知度向上による優秀な人材の確保、並びにベトナムIT教育の一助となることを目的に、当社は今後も様々なイベントを通して提携大学との交流を拡大、深化する方針。



新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けたホーチミン、ハノイの世帯への寄付

- ・2021年9月20日、中秋節を前に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、長期間収入がなくなった貧困世帯や自営業者を中心とした400世帯に対し、現地新聞社の協力のもと、1世帯あたり50万VND相当、総額2億VND相当の寄付を実施。
- ・当社事業の中核であり、日本の課題解決のパートナーになると信じるベトナムに対し、様々な支援を継続する予定。



会社・事業の概要

成長戦略

第1四半期のトピックス

ベトナムでの活動

2022年9月期(第1四半期)決算概要



2022年9月期第1四半期の総括

- ・2021年12月23日に東京証券取引所マザーズ市場に上場。
- ・売上収益は、前年同期比**+45%**、主要サービスであるストックサービスの売上収益は前年同期比**+64%**。
- ・営業利益は、上場関連費用**9百万円**を計上したものの、前第1四半期の1百万円から当第1四半期の**49百万円**に増加（前年同期比**+48百万円、+5,641%**）。
- ・重要KPIのストックサービス数は、前年度実績57件から当第1四半期**64件**となり、当年度計画67件に向けて順調に積み上げ。
- ・自己資本比率は、2021年9月期末の43%から当第1四半期末に**70%**となり、大幅に改善。

売上収益
502百万円
+45% 
(前年同期比)

売上総利益
178百万円
+67% 
(前年同期比)

営業利益
49百万円
+5641% 
(前年同期比)

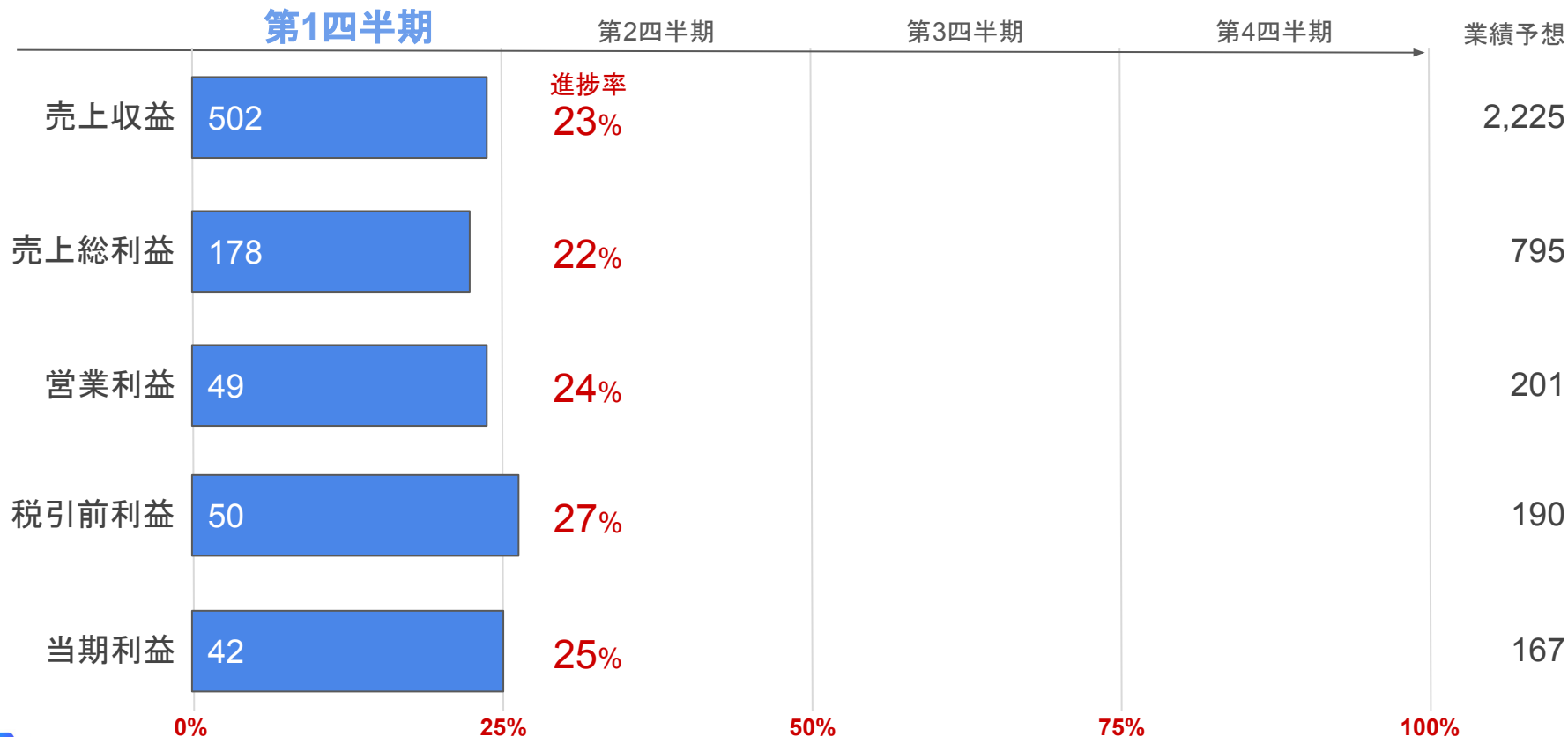
売上収益進捗率(対業績予想)
23%

営業利益進捗率(対業績予想)
24%



2022年9月期業績予想に対する進捗率

(単位:百万円)



- ・売上収益は前年同期比+45%増と高い成長を記録。
- ・当第1四半期に上場関連費用9百万円を計上したものの、営業利益(+48百万円)、当期利益(+47百万円)ともに大幅な増加。
- ・売上収益、各段階利益は業績予想に沿って順調に進捗。
- ・売上収益の増加に伴い、固定費率が低下し、売上総利益率、営業利益率は改善。

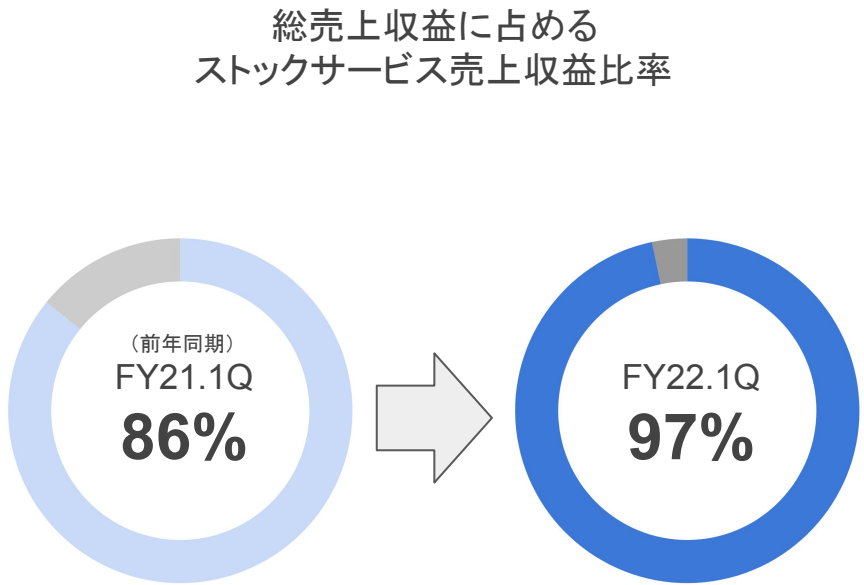
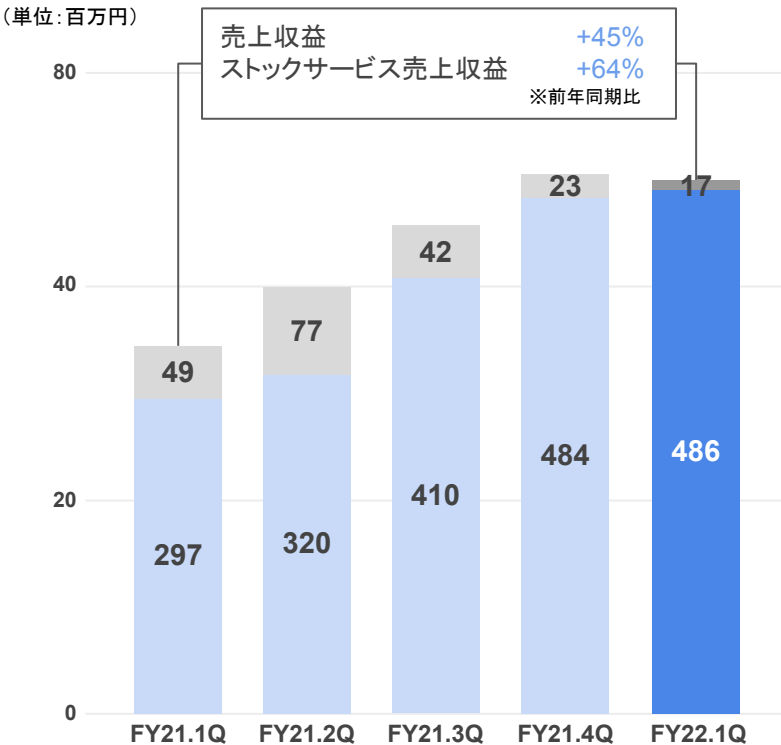
(単位:百万円)

	2021年9月期 第1四半期		2022年9月期 第1四半期		前年 同期比	業績予想	
	金額	売上高比率	金額	売上高比率		金額	進捗率
売上収益	346	-	502	-	+45%	2,225	23%
売上総利益	107	31%	178	36%	+67%	795	22%
営業利益	1	0%	49	10%	+5,641%	201	24%
税引前利益	△4	-	50	10%	-	190	27%
当期利益	△5	-	42	8%	-	167	25%



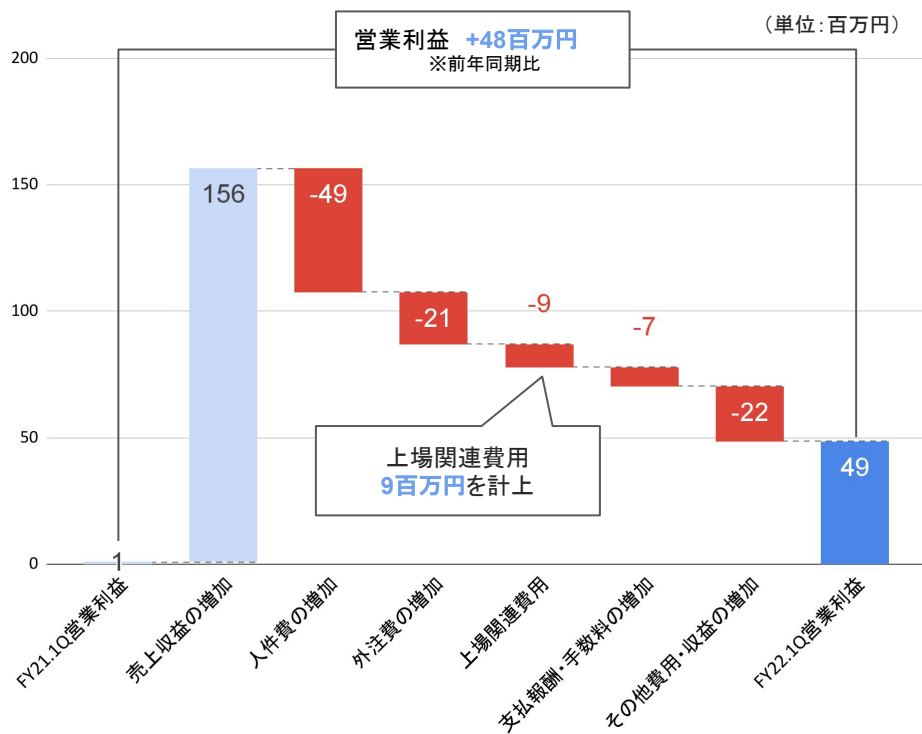
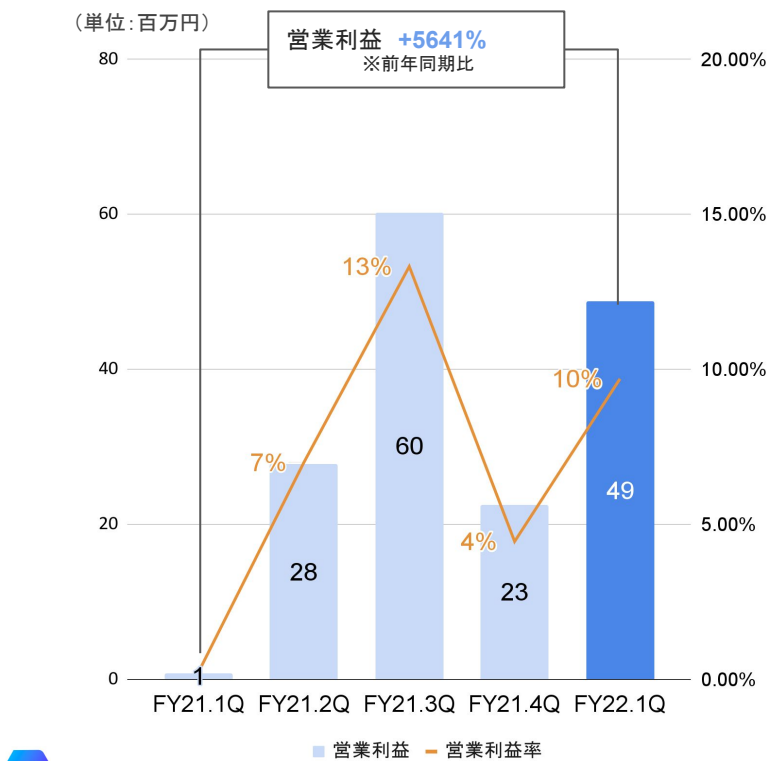
売上収益

- ・売上収益は、前年同期比**+45%増**、主要サービスであるストックサービスの売上収益は前年同期比**+64%増**。
- ・ストックサービス売上収益比率は、前年同期86%から当第1四半期**97%**に増加し、より安定的な収益基盤を構築。
- ・前第4四半期から当第1四半期にかけて、短期案件の一部が終了したものの、長期案件の獲得は計画通り進捗。



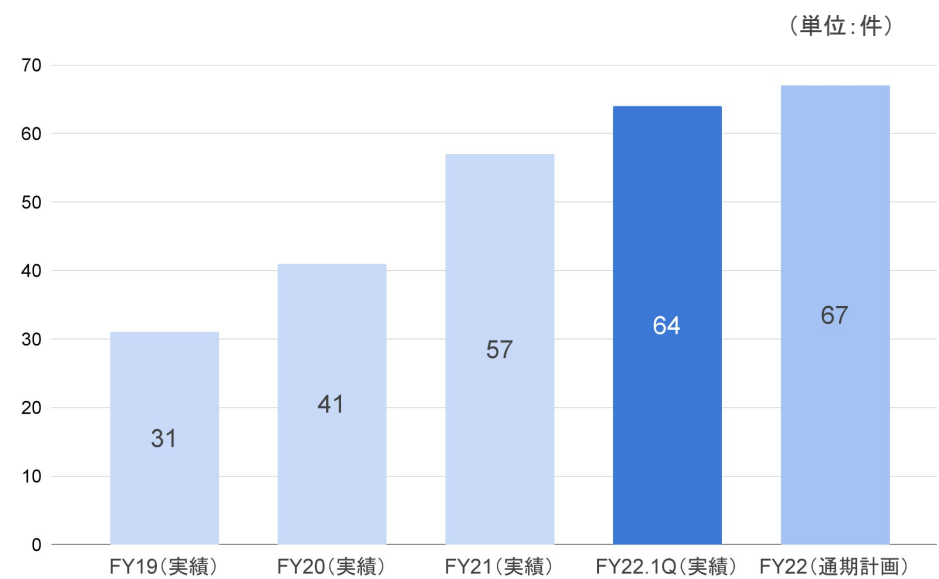
営業利益

- ・営業利益は、前年同期比**+48百万円 (+5,641%)**の増加を実現。
- ・原価、販管費においては、事業規模の成長に伴い前年同期比で人件費が**+49百万円**増加、外注費が**+21百万円**増加した他、上場関連費用として**9百万円**を計上。



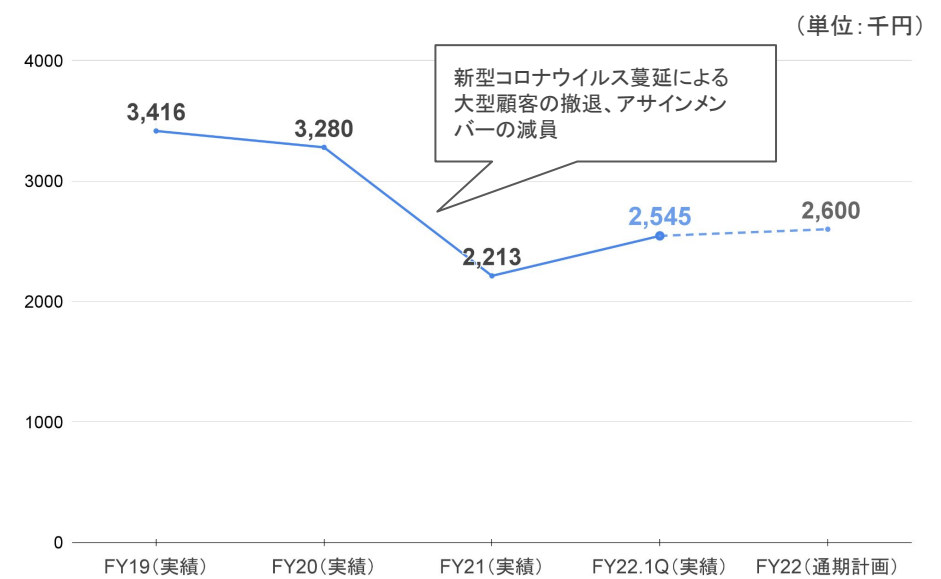
- ・ストックサービス数は、前年度実績57件から当第1四半期**64件**と、当年度計画67件に向けて順調に積み上げ。
- ・ストックサービス単価は、前年度実績2,213千円から当第1四半期**2,545千円**と、当年度計画2,600千円に向けて順調に増加。

ストックサービス数の推移



※ストックサービス数.. 「月次ストックサービス数の年次合計12ヶ月」で算出した年次平均数。
第1四半期の実績は、「月次ストックサービス数の第四半期合計3ヶ月」で算出。

ストックサービス単価の推移



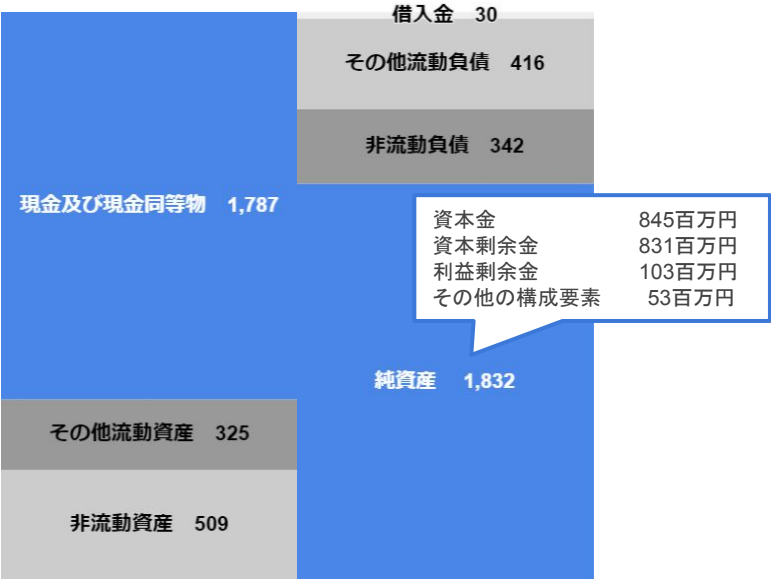
※ストックサービス単価.. 「年次のストックサービス売上月次ストックサービス数の年次合計」で算出した年次平均単価。
第1四半期の実績は、「第1四半期のストックサービス売上月次ストックサービス数の第四半期合計」で算出。



- ・上場に伴う12億円の新株発行による収入の結果、第1四半期末の現金及び現金同等物残高は**18億円**となり、資金繰りは安定。
今後の事業拡大を見据えた、人材の獲得及びマーケティング投資に順次、充当していく予定。
- ・自己資本比率は、2021年9月期末の43%から当第1四半期末に**70%**となり、大幅に改善。

B/S

(単位:百万円)



C/F

(単位:百万円)

営業活動CF	109
投資活動CF	△2
財務活動CF	1,175
現金及び現金同等物の増減額	1,282
現金及び現金同等物の期首残高	500
現金及び現金同等物に係る換算差額	5
現金及び現金同等物の1Q末残高	1,787

上場に伴う新株発行による
収入 1,176百万円





- ・本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。
- ・これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。
- ・当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- ・本資料における将来展望に関する表明は、利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。